（一）　第九十五號　（木曜日）　明治四十二年四月二十九日　月曜及祭日の翌日休刊　（日刊）　（明治四十一年十二月三十日第三種郵便物認可）

京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐべからず

東拓人物評論（十三）　翠山

▲嶺秘書役長▼（一）

宇佐川總裁より吉原副總裁に及び而して爰に突如として嶺秘書役長を掲げんとするは固より順序不同の譏を免れざれども這は余輩が曾記憶に新なる人物より筆を執る所以に過ぎざれば諒察あらん事を

東拓社員の人物を熟々分析すれば、玉石混淆、薫蕕同束の觀なくんばあらず、或は人格の高朗なるもの、或は閲歴の完全なるもの或は聲望の高大なるもの或は性情の下劣なるもの或は行徑の曖昧なるもの數へ來れば一々僂指に遑あらずと雖も、殊に從來（前身）著るしく世人の賞讃を買ひ好評を蒙りしものは恐らく一部の僅少なる人物に過ぎざると同時に著るしく世人の批難を買ひ兎角の惡評を蒙りしものも又或る一部の僅少なる人物に過ぎざるなり。

而して假令其の手腕と力量とに於ては東拓總裁として缺ぐる所あるも其の人物に於ては比較的凡を抽んずる宇佐川總裁に次で手腕力量人物又共に可もなき不可もなき吉原副總裁の如き人、要するに善き意味に於ての常識一部僅少なる人物に過ぎざれど○○又は○○氏等の如き人格に至つては實に唾棄に値すべきものあり、さはいへ一の團体一の集合中には必ずしも完全にして無缺なる人物のみはなく各々個面の異なるに從つて其の心の良否を異にし居るを以て敢て爰に東拓にのみ限り玉石混淆の觀を呈せる所以には非ざれば比較的幾多の人物混合し東拓社員たるべき資格として余りに其の趣を異にし併せて人物として世已に定評ある宇佐川總裁の傘下に一般世人より擯斥され唾棄されたる人物の其の任に在るは又此れ他に稀れなる異樣の現象といはざるべからず固より總裁の淸濁併呑なる敢て意に介する所なかるべきも斯くては他社員の手前併せて事業の進行上到底永遠に放任さるべき仕誼のものには非ざるべし

閑話休題、本日より批評の筆を執らんとする入部嶺秘書役長は果して何れの一部に屬すべき人物なる乎

寄書

閔泳徽君足下　李晳房

足下は一族を率ひて一進會の首領、韓國一の才物、踩物師の隊長、宋秉畯君と結托して政權を得んとするの風評あり、果して是れ事實なりや、事實ならば心得違ひも亦甚だし、韓國現時の狀勢は足下等が嘗て淸使袁世凱と結托して飛鳥を落せし時代とは大に異れり、其后ち狡猾機敏なる故安駉壽を使嗾して日本黨の裏を掻かんとしたる時代とは異れり、然るに猶時の全盛を夢想して政權に接近せんとせるが如きは極て愚也、足下等は既に既に時勢に遲れたり、今や如何に適せるとも到底希望は充さる者に非ず、宋秉畯君は安煙草の如くに容易に使嗾せられざる也、反對に足下等が利用さるゝに過ぎず、僕足下の爲に計るに足下等は其全盛時代に貯蓄し得たる財を實業界に投じて生産事業に盡せ、之れ足下の爲也、韓國の爲也、徒に何時迄も政權狂たる勿れ、

文苑

●花見と面目　蘭雛

花見の歸りがけ僕は余程醉つたものと見えて道を千鳥に歩いたが自分では薩張解らぬ、家に歸つてから洋服の儘寢たのも一向に覺がない、唯眼が醒めて自分に歸つたとき、非常に醉つて居たことを聞かされて心中何となく面目なく思つた、同時に花見だから仕方がない誰も醉ふ、自分許りぢやないと獨り言をいふと妹の敏ちやんが透かさず「兄さん見たやうに醉ふ人は少ないよ」と一本突込まれたときには更に面目がなかつた

●女と花●　も〻代

向ふに見ふるは花か
彼方に行くのは女か
花と女は似たものだ
大層美しい
實に奇麗だ
サテ何方がよい
サテ何方等も手折つては
罪だ野暮だ
サラバ眺むるのみか
さなり眺むるのみ
蝶はよく花に遊ぶ
我は野に遊ばむ

●新刊紹介

●月報　三月中に於ける仁川の市況、貿易、商況等を掲げしもの而も後欄に於ける諸種の統計は以て參考となすに足るべし（六號仁川商業會議所編纂）

●野村商店營業案内　大阪東區本町二丁目にある同店の營業案内を録せしもの流石に大商店丈に内容見るべきもの多く新業者は一應眼を通すだけの必要あり（大阪東區本町二丁目野村商店）

●商界の友　新に生れたる雜誌なり目次は發刊の辭に次で主張、講話、研究、文叢、雜纂等にして最后に英文の一欄を設けあり體裁記事初號としては完全の方なり（一號一部八錢大坂東區大日本商業學會）

佐倉宗吾（六十六）　眞龍齋貞水講演

凌雲院殿の御前をも憚らず、上野介は蛇と跳付け、御立ちに成りましたから、凌雲院はアッと呆れ、御仕舞あそばしたが、併しながら是と云ふは弱氣の誤り、何か心に御取遁ゐがあらんと、人を濟うは出家の身の上、殊にこの堀田家に就いて、罪あやまれば、頭分に何人となく、人死もあるであらう、盡だけは盡さうと、是からソコ／＼凌雲院様心許なくも、堀田上野介の上屋敷を出で、根岸の御隱殿に在はす、上野法親王様へ向ひました、上野の宮様は、御退隱遊ばすと之を御隱殿様と申し上げる、其御隱殿様へ御縋り申して、何うか堀田上野の勘違ゐを御説きを願はんと、さては凌雲院様が、御隱殿へ罷り出たのでございます、それで法親王様へ斯くと申し上げるさ、勿体なくも法親王様より急に御使者が立つて、上野介を夜中御召しに成りました、恐れ多くも上野一品親王輪王寺の宮様が、御退隱遊ばされた方でございますから、御目通りを致しますと

宮「是は／＼上野、宜う見えた

上「麗はしき体を拜して、恐悦に存じまする、御法體恙なく亘らせられ、上野有難く存じまする

宮「其方にも變はる事はなきか

上「有難き御仰せ、無事御奉公まかり在ります

宮「毎日登城を致して、將軍御用を勤むる段、御苦勞なるぞ

上「恐れ入り奉ります

宮「さて今晩は、久々にて、其方に茶を一服取らせやうと存ずる

上「斯は又有難き御諚」と、上野は謹んで御請を致すと、御茶を下さる、凌雲院大僧正も其席へ罷り出て、法親王様へ御挨拶を申し上げ、又上野介にも、御挨拶を下さる、

宮「さて上野、其方は大老酒井雅樂頭に、何か申せしやう聞き及びしが、それにては些と穩かならぬやうにも存ずる、心を翻して雅樂の言ふ事を用ゐては如何ぢや」と御一言あると、流石の上野、如何に若年短慮の人なりと雖も、雅樂頭殿に突掛つたり、或は大僧正凌雲院殿に御言葉を反へすとは事變り苟且にも法親王の皇族で居らつしやるから如何な無法な奴でも、之には恐れ入る上野頭をドげ

上「唯今の御仰せ直答なし兼ますれば、屋敷へ退り、篤と思慮いたし、其後御挨拶申し上げ奉りまする」と御答を致しました、

宮「左様なれば方篤と勘考いたし、雅樂の指揮に從ひ、其身の安全を計するやう致せ」と仰せられた、何うも重き御言葉でございまして、飽まで御慈悲を以て上野介の御家安泰の儀を御計り下さる、此有難く存しまして、茲に上野介が、心を御改めに成りますれば、十八萬石の此家には瑕瑾は付かぬのであるが、上野介は其儘御茶を頂き、御座敷へ御歸りに成ると、何日まで經つても、何の御挨拶も申し上げない、其内に地方役人共が、國表から百姓共の惡い事を、種々書立てゝ申し上げる、それが爲め上野介は、益々御憤り遊ばし、本來に申し付け、六人の庄屋共を草を分け、死を剝しても詮議に及びました、此時既に六名ども、上野凌雲院様が御隱匿い下すつたから、何うして上野へは手は着ける事は出來ない、六名の者は、酒井雅樂頭の御言葉に依り、凌雲院様へ御預けとなり、上野で御賄ひを頂戴致し、今に御大老様から、何か御沙汰があるか知らぬと一同千秋の思ひで、待つて居りますが、何の御沙汰もないから、澁澤村の六郎兵衛が

六「さて宗吾どん」

宗「ハイ」

六「好い按排に御斯うやつて御厄介に成つては居るが、未だ何の御沙汰もないと云ふのは、私のやうな愚なる者の考へでは知りませぬが、何うも御上の思召は有難くも、堀田様が御聽きなさらぬのぢや無いかと思ひますが、宗吾どんは何う御考へです

美術半襟帶上他紙類名種　[illegible]商店

京城新報

伊藤老人の氣焔

頃者伊藤老人は東洋協會の韓人觀光團歡迎會の席上に於て伊藤式の大氣焔を吐けり其修辭は例により極て立派なり、然り老人の言辭は毎時も巧妙なり、然れども言辭の巧妙なる割合に實行の之に伴はざるを遺憾となす、三年有半に亘れる統監政治の經過を想見せば何人か其言辭の大なるに比して實蹟の擧らざるに呆然たらざらんや、今次の席上演説の如きも亦此轍ならんかと余 [illegible] 其演説の要旨とも世人の注意を惹くべきことは曰く日韓一家説なり、曰く「日韓兩國は宛然一家なり門戸なし今や將さに共同的に歩みて一家たらんとす」云々、嗟呼之れ何等の好辭ぞや、然れども實際の狀態を見れば之れ唯だ老人の巧妙なる好辭に止まるのみ、果して一家説を實行せんとならば [illegible] 然るに之に反して窮屈なる拘束を爲すが如きは一家説に甚だ矛盾す [illegible] 是も亦一家説と矛盾せり [illegible] 之を閉ざして人の來るを待つと聲言するも惟 [illegible]

[illegible] 來多少韓統治に就て考慮は進歩したるが如く [illegible] 日韓一家説の [illegible] 先づ以て喜ぶべし、然れども尚ほ未だ韓 [illegible] 帝國の [illegible] 更に一段の經驗 [illegible] 徒に巧妙なる措辭により其場を飾る如き [illegible] を脫し、整正堂々眞個に日韓一家説を實行すべき也。

鐵道冗員の淘汰（一）

[illegible] は僅に百万圓の利益 [illegible] 局が常に破産の狀態 [illegible] 故ずや東電傳ふらく [illegible] 汰せらるべしと宜矣 [illegible] 管理局が冗員の淘汰 [illegible] 代速成工事時代の情 [illegible] 理局が其情弊と打破 [illegible] 節減を斷行し今日の [illegible] 鐵夫自身の存立上必 [illegible] る義務なりと信ず。

鐵道冗員の淘汰（二）

[illegible] とすれば之を淘汰す [illegible] も從來の例を以てす [illegible] が冗員淘汰なるもの [illegible] 油差、車掌、信號手等 [illegible] る下級者のみに限 [illegible] 危險なる淘汰は [illegible] に親しむ乘客荷物 [illegible] ざるべからず長官 [illegible] 珍事を忘れずんば [illegible]

外報　東

土耳其帝遁走

土耳其國 [illegible] 激戰起り去二十四日 [illegible] 衛隊はマセドニア軍 [illegible] 逸軍用汽艇に投じ [illegible]

英暹條約發表

英暹新條約 [illegible] 之によれば暹羅は [illegible] 數州を英國に割讓 [illegible] 暹羅國在住英國臣 [illegible] 權に讓りたり又暹羅 [illegible] 資本四百萬磅を借入 [illegible]

●米國前大統領

[illegible] ルーズヴエルト氏は [illegible] 到著せしが英國皇 [illegible] 電報を寄せられた [illegible] 謝辭を述べて英國 [illegible] 事業の進歩を稱揚 [illegible] びたりと

●南阿聯邦憲法

[illegible] 望岬ナタル兩殖民 [illegible] 決したり但しナタ [illegible] ナタル人民に反對 [illegible] 國投票に附すること

●銅官山の談判

[illegible] 敦駐劄淸國公使李 [illegible] サー、ジョン、リス [illegible]

雜報

●金融組合と設立委員

度支部にては本年度に於て更に地方金融組合を五十ヶ所を增設し全國を通じて百ヶ所となすの計畫なることは既報の如くなるが内二十五ヶ所は本月中に設立準備に着手する筈にて夫々人選を了し先づ將來理事たるべき者を差當り設立委員に任命し昨日辭令を交付せり而して右の内東京高等商業學校出身者一名東洋協會出身者十九名あり又右設立委員は全羅南北及慶尚南道を主とし殘余の分は五月設立準備に着手する筈也と

●東拓重役會議

宇佐川總裁は昨廿八日午前十時吉原副總裁以下重役一同を總裁室に召集し來月東京に於て開かるべき第一回總會に報告すべき事項中其實價に就て種々の世評ある驛屯土引續の始末其他の重要問題に關し重役會議を開催したる由

●副統監の出發延期

曾禰副統監は昨朝慶州出發迎日灣より釜山に向ふ筈なりしも天候不穩の爲め出發を延期したる旨其筋に電報ありたりと

●伊藤公と桂侯

伊藤公東歸の後公の邸内には元老大臣の出入斷えず又近頃は元老大臣間の往復も頻々たるところよりして世間種々の揣摩を傳ふる者あり併ながら只今の處にては天下泰平にて一事の報ずべきものなし伊藤公韓國統監を辭すべしとは數ば傳稱せらるゝ取沙汰にて實は公辭朝せらるゝ度毎に此風説を生ぜざるなき爲め今は之を聞くも敢て珍らしとせざるのみか最早之を信ずるものもなし而も公は今日にては統監を辭するの意なく健康の許す限り韓地に在りて其事を見るべし併ながら此度桂侯と數ば往復面談したる結果公侯間の相談甚だ熟し公は桂内閣の重要事項に就きては十分の援助を與ふるの約成りたりと云ふ小村伯が最も頻繁に公と相見るは畢竟外交問題に就て相謀るの必要あるに由るべく伊藤公と現内閣と相依賴する所以のもの亦此外交上の事にありと知るべしと大每紙に見ねたり

●農工債券の交付

韓國各農工銀行は曩に合計六十萬圓の農工債券を發行したるが當時應募者に交付すべき債券の印刷間に合はず假領收證を發し居りしが今回龍山印刷局に於て印制完成したるを以て一兩日中夫々交附する筈也と

●花見御宴の模樣

廿七日昌德宮秘苑に開かれたる花見御宴の模樣を聞くに當日の參列者は各皇族を首め李首相以下各部大臣同夫人承候官同夫人宮中顧問官同夫人等二十餘名にして何れも午前十一時相前後して入闕し先づ熙政殿に於て韓皇皇后に謁を賜ひ夫れより韓皇皇后は一同を從へて演慶堂に臨御一同に賜餐あり後更に秘苑の清池玉流泉に赴かれ百花爛熳の景趣を賞し聽て還啓せしが散會せしは午後六時なりしと

●勸農獎勵の訓示

韓皇勸農の意を以て親しく東籍田を親耕せられ朴內相御思召の存する所を奉じて過般各地方長官へ向け勸農の訓令を發したることは既報の如くなるが各地方長官は今般管内府尹及郡守へ向け内部大臣の訓令に基き夫れ〱勸農の訓示を發したりといふ

●金融組合と技手

度支部は各地農具及種苗の改良其他一般産業の振作を計る目的を以て既設金融組合中重要の場所十三個所を撰定し各一名の技術官を配置せしは既報の如くなるが今回組合の增設と共に更に三十六名の技手を增置する事に決し目下其の人選中なり尚技手の俸給は特に度支部より補助する方針なりと云

●警察署長の會議

二十七日午後一時より若林警視總監官舍に於て警視廳管内の警察署長會議を開き四時散會したり

●學務主事の會議

昨二十八日午前十時より學部に於て第一回任命の學務主事會議を開きたるが一昨日に引續き俵學部次官より諸種の訓示あり夫れより重要事項に就き會議する所ありたりと

●平南勸業品評會

既報平南勸業品評會は廿七日午前十時より平壤大同門樓上に於て開會式を擧行したるが出品數は約三千點にして大部分は農産物なりと

●日韓人の親睦會

京城日報主催日本觀光團の慰勞を兼ね在京城及附近日韓官民の懇親を計る爲め三浦理事官、熊谷民長、張府尹、商業會議所及民團各議員新聞記者、通信員等發起となり觀光團の歸來を期し倭城臺に一大宴會を開く筈にて明三十日午後二時より民團樓上に發起人一同會合の上之れが打合せを爲すべしと

●牛疫檢査所の確定

釜山に於ける牛疫檢査所は愈々釜山鎭に設置さるゝ事となれるが一年の經常費約二萬圓にて牛舍六十頭を容るべきもの九棟を建設し外に一万坪の地域により經營せらるゝべしといふ

●地方漁業の狀況

農商工部水產局員遠山鑑三郎氏は先日京畿忠淸、全羅の三道を視察し昨日歸任したるが同地方面の漁業狀況を聞くに本月十五日頃木浦に集まりたる漁船は三四十艘にして其他は多くは蝟島に福岡、佐賀、長崎、熊本、鹿兒島及其他諸縣の漁船六百艘以上集合し何れも鮟鱇網を以て石首魚の漁獲に從事中の由なるが本年度は閏月の爲め時期稍早く水温稍冷かなる爲め未だ多額の漁獲あらずと雖も舊曆三月の朔日潮には約二十万の石首魚を獲たる由にて之が趨勢より推せば本年は好漁ならんと

●韓人學校職員任命

昨日の官報を以て金敎植外一名は官立普通學校本科副訓導に金吉善外五十七名は公立普通學校本科副訓導に任命せられ各七級俸を給與せられたり

●鴨綠江渡江運賃

新義州安東縣間渡江荷物運賃を左の如く改正五月十五日より施行する由

一、斤扱荷五十斤迄金五錢以上五十錢若くは其未滿を增す每に金五錢

二、噸扱高價品は前記貸率の五割增一噸に付金七十錢一噸未滿は一噸分徵收す

●引替切符と手數料

鐵道管理局各驛に於て貨物に對する引替切符を發賣し居りしが荷主に於て多數之を送付せざる向あり從來保證狀なるものを下附し居りしが斯くては取扱上困難なる所あり今回管理局にては保證狀にも金五錢宛を手數料として徵收する事となりたりと云ふ

●沿岸漁業と暴徒

韓國に於ける暴徒は目下全南木浦地方に於て最も猖獗を極め之れが爲めに沿岸漁業に障害を及ぼすこと頗る多く現に巨文島にて荒木和助氏所有せる六人乘漁船は過般數名の暴徒の襲擊を受け内二名は即死二名は重傷を負ひ二名は漸く逃走することを得たる次第なるが又草島列島に於ても三人乘漁船は海中に投じて生を全ふしたる由如斯暴徒の爲めに二名は銃創を負ひて即死一名の爲めに害を蒙むること屢々なるが今水產組合の調査に係る昨年五月十一日より本年三月一日に至る被害高を聞くに殺害されたる者二十六名家屋を燒却されたるもの三十六戶の多きに及びたる次第なれば此際人命保護の上より見ても沿岸漁業獎勵の上より見ても海上警邏の必要は刻下の急務なりといふべし

●組合理事に訓示

別項地方金融組合の增設と同時に任命さるべき理事（東洋協會出身者十九名）に對し藤原支部書記官は左の意味の訓示を爲せり

抑も地方金融組合の業務は單に貸付のみならずして農民生產物、委托販賣、農具肥料種苗の共同購入及倉庫保管の業を營むものにして其業務の範圍は實に廣し蓋し當國の如き經濟狀態の幼稚なる國に於ては國民の生活程度極めて低く殊に小作人に於て其最も然るを見る故に中農以上に對して農工銀行あるも是等小農に對しては小規模の地方金融組合を必要とす此組合は單に金錢を融通するのみならず其生活物を有利に販賣し又其材料を廉價に購入するを目的とするものなり諸君は此主旨を抱くまで貫徹し小農の經濟狀態を改良せられん事を望む

次に注意すべき事は諸君の立場なり諸君は一方に於て支配人なると共に他方に於ては組合の書記としての任務に於ては前項既に之を陳したり書記として其支配人として其地方種々なる行政機關に民間と交涉せざるべからざる事あるべし故に諸君は其間に處し圓滿融和以て事業の遂行に努められん事を望む、第三に注意し度きこと操行なり諸君の大部分は卒業後日尚淺く血氣盈溢の時代なれば田園の單純なる生活に飽き酒色に耽くるが如きは斷じて慎まれたし、第四に注意したきは諸君が社會に充分なる經驗なき結果として社會を單純に解釋し主觀的に理論上正當ならば社會も亦之を是認すべしと考ふるは速斷なり社會は例令理論上正當なることなりとも必ずしも之を是認せず諸君は克く此間の理を能く解せられん事を望む云々

●鎭南浦昨今の市況

最近鎭南浦の金融界は韓人側に於て田舍より穀物買出の爲め多少資金の需要あるも相場恢復せざるを以て市況一般に閑散なり尤も輸入品中綿糸雜貨紙石炭木綿淸酒等は何れも相應の賣行ある樣子にて穀物在荷七萬俵の見込なりと

●群山港昨今の市況

同期群山の市況も同しく資金の需要起らずして兌換券交換は絕へず申込あり又改造登記券の需要多し

●大同門商況の昨今

平壤大同門通りの商況は出廻好く大豆は上物四圓二十錢より三圓八九十錢、黍は突飛の跳返しにて前月二圓八十錢前後なりしもの三圓二十錢に持ち直し小麥は八圓二十錢位の相場なるが小豆は保合ひにて五圓五十錢、蕎麥は込み五圓十錢より六七十錢位のところなりと

●平壤勞働會の合併

平壤の韓人勞働者間には從來平壤勞働會並びに京城勞働會支部といへる二團体ありて互に相反目せるが斯くては不利なりとて今回兩團体の間に妥協成立し結局合同して平壤勞働會といへる一の團体となすに決し近日新たに其の事務所を設立する筈なりと

●元山居留地と地券

元山理事廳にては今回居留地に對し地券を配付することゝなしたるが地券圖面は同民團役所に差し出し後其の圖面を添附し理事廳に出願する順序なりと

●開港十年祭と神社

五月一日は馬山開港日に相當するを以て此日を以て例年居留地祭を執行することゝなり居るが本年は開港十年に相當せるを以て馬山公園に於て宴遊會を催し餘興として大運動會を催す由尙同地には居留地神社の建設なかりしより今回建設するに決し目下寄附金募集中なるが約三千圓の豫算なりと

●菊池新局長着任期

既報新任農商工部商工局長菊池武一氏は來月四日迄に着任老人亭黑田太久馬氏舊宅に投ずる筈なりと

●永濱總長昨朝出發

永濱關稅總長は一昨二十七日當地發仁川を經て群山に出張の筈なりしも昨二十八日午前出發したり

●遠藤事務官の東上

鐵道管理局遠藤總務部長は昨日出發東上す

●運動會と選手豫選

昨日聯合運動會關係各學校の選手一同を外國語學校に召集し [illegible]

公人私人

[illegible] て豫選を爲したりと

▲飯田章（京畿警察部長）二十七日入京 [illegible]

▲知火旅館

▲河村九淵（農學士）同上

▲佐々木唯市（東亞烟草會社京城支店長）二十七日入京二日月旅館

▲片岡淑人（島根縣邇摩郡長）同日入 [illegible] 尾旅館

▲助村一（島根縣安濃郡長）同上

▲兼重次郎（平壤地方裁判所檢事長）中の處二十七日歸任

▲恒吉忠正（陸軍少將）同行中牟田武六（恒吉少將隨員步兵中尉）二十七日歸任

▲關原二郎（臨時財產整理局主事）母 [illegible] 氣の爲め二十九日東上

近事片々

▲漢城の春色長閑にして日人大官連の頻繁なる世夫花に浮れたるに去來の [illegible]

▲伊公夙に任地を去り曾禰子地方視悠々參與官連多く東上せり本營は雜兵 [illegible]

▲岡次官歸任し木内次官松井局長東荒井次官尚東都にあり保護政廳の主腦 [illegible]

▲斯く主腦の空虛にても保護政治は行はるゝか恐らくは運用に故障を生 [illegible]

▲當識より考れば斯く揃て主腦が任 [illegible] 空虛にし東上の要なし偕も官人の考は [illegible]

▲英國の財況今や良好公債借換談進 [illegible] りとの報水町財務官より來ると云先づ [illegible]

▲借換公債の利率は四朱也と韓國政 [illegible]

▲東拓會社も些と外債を起して仕事を爲 [illegible]

▲韓國政府も東拓會社も現狀の儘に [illegible] 事も出來ぬ低利の資を輸入することそ肝 [illegible]

▲何事も先立つものは金也喫緊の事 [illegible] 興すには外資を輸入するも更に恐る所 [illegible]

▲韓國の現狀は起すべき事業想して [illegible] 足らず今は思切て大膽の施設をなす時 [illegible]

▲伊公と桂侯の熟議は圓滿に進み統 [illegible] 更迭當分なしと報せらるも亦辭任はれ [illegible]

▲桂侯小村伯が屢々伊公と會見せる [illegible] 交上の問題に就て伊公の指揮を仰ぐ爲 [illegible]

▲大頭侯も壽太伯も宜加減に元老への [illegible] 兼を廢せ元老の容喙は立憲政治の意を [illegible]

▲兎角老人は敬れると得意になり易 [illegible] 公に聞かざれば外交の解らぬ事もある [illegible]

▲一時は大分良好の雲行なりしも此 [illegible] は當分は保護政治の發展六ツかし香氣 [illegible]

▲桂侯も余り樋口に立廻り過ぎる例 [illegible] み倒し策も此處一寸鈍りたり穴モドか [illegible]

▲統監政治の見物人も最早飽き果て [illegible] 宜加減に淺黃幕を下ろし趣向を變化さ [illegible]

▲土國の叛亂も案外に大きくなしマ [illegible] ニヤの立憲軍は終に勝を制し王城を陷 [illegible]

▲土帝の生死不明立憲軍に擒せられ [illegible] か或は弑せられしとか所說紛々判然 [illegible]

▲然れども君府は立憲軍に依り秩序 [illegible] 全に保たれつゝありと流石は立憲軍な [illegible]

▲土帝の敗北は抑も何を意味するか [illegible] の勢力增殖か獨逸勢力の減退か前途面 [illegible]

▲土都の大騷亂に依り喚起するは露 [illegible] らん露國今後の活動大に見る可き者あ [illegible]

▲男三郎に續きて縛に付たる細屋殺 [illegible] 時三郎亦死刑を受寅士の男三郎に追隨 [illegible]

東京電報

一周宮殿下の叙勳

[illegible]

臼井代議士辭任

[illegible] 事件に於て拘引中の長崎撰出代議士臼井哲夫氏は衆議院議員を辭したり

西班牙東洋艦隊

西班牙東洋艦隊は明日將來に入港し日本海 [illegible]

子には本日大森に於ける紀念園遊會館に伊藤太師を訪問 [illegible]

國債證券當選番號

[illegible] 一昨日度支部に [illegible] 聞紙上に發表す [illegible]

第者四十一人、一年編入の者九人、一年に假編入の者九人にして一年志願者中及第者百人なりと而して入學式は來る二十日擧行

團議員等も參列すべしといふ

●運動會の教諭演說

漢城府尹官私立學交等連合運動會の [illegible]

雙影（二）

南船北馬樓主人

第一章　誤解（二）

「まあ、貴郎、什うしたんですよ。」仲居は駈け寄つて、山田を抱き起した。山田は憎くさげに君子の方を見遣りながら、輕く仲居に會釋したまゝスタ〳〵と行き掛ける。

「山田さん、ま……ま……待つて頂戴よ。」と大袈に豚起きて、立たうとする君子の膝頭は脆くも破れて、血が一面に染んで居る。

「あれ、君ちやん、血が出るぢやないかね。」と仲居の聲に、ハッとして

「何にッ、怪我をしたのか。」と振と、山田は踵を返へして、君子の傍に走り寄つた。

君子は倒れたまゝ、ハンケチで膝のあたりを押へながら。

「否ね、怪我なんか什うでも可いんですよ、それよりか、話があるですから一寸ばかり待つて下さい、よう、山田さん後生だから。」

「話がある。」

「爾うですよ、是非共れ話したいことがあるんですよ。」

「ふゝ、何の話が有るものか、薄情者ッ。」と云ひざま、山田は再び憤然として行き掛けやうとする、仲居は慌てゝ袖を捉へて。

「ねね、山田さん、何の話か知りませんけれど、君ちやんも、あんなにして頼ひしてるんですもの、兎に角此處は往來ではわるし、御迷惑でせうが、私等の家まで來して下さい、そして話丈けでも聞いて遣つて下さいよ……。」

「……」

「ね、可いでせう、山田さん。」

「……」

山田は流石に振り棄ても切れず、默然として決し兼ねて居るのを

「さあ參りませう、山田さん。」

と急き立つるので、詮方なくも仲居の後について歩き出すと、君子も其後から、痛々しい脚を曳きずりながら、トボ〳〵としてついて行く。

行手は確か不夜城であらう、瓦斯燈が見ゆる、三味の音がする、そして何處ともなく吹いて來る風は靜に行人の頬を撫でて夢のやうにも漂ふのである。

三人は無言のまゝとある瓦斯燈の門を潜つた。

「入らつしやい。」と、威勢の好い妓夫の聲をあとに、玄關の入口から、取つ付きの階子段を昇ると、左に折れて一、二、三番目の部屋、それが君子の部屋なのであらう狹ま苦るしい四疊半に衣桁やら簞笥やら、一切の世帶道具が置かれて、ろして火鉢の傍の違ひ棚には、寫眞帳やら招き猫やら、お定まりの珍紛漢紛が並べられてある。

●はねのば誌（下）

燒蛤生

次に後列の一鳥隊には左の令を下した

或るもの鳥の自白する所に因れば、某所より啄み來りたる盜品二點は、此附近に隱匿し置きたりと云ふ、依て該盜品を三十分以内に搜索を爲し、速かに發見の効を奏すべし。

鴨令終るや諸鳥は羽を鳴して四方に飛散し鵜の眼鷹の眼になりて搜し廻り、八分の後ち盜品一點を松林中より發見し、其より十二分を經て韓裝もの鳥は天網に羅りて遂に捕はれたるが、他の洋裝もの鳥と殘れる盜品一點は定時までに發見しなかつた。

▲其が濟と今度は餌喰競爭と謂ふのを始めた、之は五八オット五羽を一組として五種の喰物（蒟蒻の熱きもの又は飴の堅きもの或は鷄卵の湯出立の如き容易に嚥下し難き食物を選びたるもの）を併べ置き、一定の巨離より駈け來りて、其の内の一種を全く喰ひ終りたる後ち、更らに一定の所に樹てある小旗を拔き取り、一番早く最初出た所に到着したるものを優勝者とする競戯である。之は頗る面白かつた。

▲それを二回程行て、あとは寫眞鳥が携へ來りし寫眞機に依りて、一同松樹の下に撮影を爲し、夫より構内の黄鶴軒と云へる亭に於て、折詰を開きて酒宴を始めた、此の亭には三方に幔幕を張り、其周圍と天井とに万國旗を飾り、尚ほ亭の一段高き所を舞臺と成し、此處にて各自隱し藝を演ずるの仕組にて、準備は遺憾なく整つて居た。

▲酒宴酣盛なる頃、替る〳〵舞臺に現はれて隱し藝を始めた、雀踊りに似た朝鮮式の舞踏もあれば、鷄の啼聲に似た滑稽公の二輪加茶番もある、雉子のケン舞を演ずれば鶴の巣籠りの尺八を吹奏する、中には鶯の谷覗きと謂ふ輕業を行るもあり、山雀の宙返へり目白鳥の押競も始まる、さては時離れし時鳥の義太夫も迁鳴り明鳥の新内を語るなど、いやもう頗る振つた盛會、久しぶりにて各々得意の美音を弄し、藝當を演じて大ひに羽翼を伸し、十二分の歡を盡して千鳥足しながら、塒を指て歸戻りしは、最早黄昏近き頃であつた（終り）

●彩票に當て罰金

▲大連彩票二等當籤者

釜山居住酒類醸造業福岡竹之助（四〇）は十年以來の知已なる福岡縣浮羽郡千年村出身大連若松町第二號木炭商原田勘三郎（三[illegible]）の手を經同人名義にて大連彩票を數回購ひ[illegible]昨年十二月同樣[illegible]買入れ[illegible]四票の内五万六千四百十五號は其第二等彩票に當籤せしが原田は自ら渡連して彩票局より金を四千八百五十圓と外に當籤せ[illegible]四圓を請取り内七百圓は原田への謝金及び土産物に費消し差引き四千余圓を懷にしてが此の事何時しか其筋の耳に入り告發せられたるが同地裁判所に於て審理の結果本月九日罰金二百圓に處せられ去る十三日確定せる由大連の彩票を買ひつゝある人は當地にも随分多からずと聞くが何れも御用心〳〵

●猛虎を射止む

▲鎭南浦理事官等の虎狩

去る廿四日の土曜日眞つ晝中の四時十五分鎭南浦警察署の管内南浦を去る僅かに三里半三和巡査駐在所の後方粗々たる小松山にて同駐在巡査小笠原隆顯氏指揮の下に鎭南浦の旅館紅葉ホテルの主人西山員濟及龍岡邑在留の諸隈寛一韓人勢力四名都合七名にて一見四歳位とも見ゆる牝の猛虎一頭及同時に追ひ出したる長さ四尺に餘る山猫一頭を擊ち取りたりと尙ほ秋本鎭南浦理事官は同好の士を語らひ昨廿八日三和山頭に猛虎狩を爲したりと云ふ

●指に喰ひ付く

當地本町八丁目七番戸料理店末岡益吉（三九）外數名は昨日午前〇時半頃本町五丁目待合[illegible]に於て旭町一丁目大工職木下要太郎と些々たる事より口論を務め遂に數名協力して要太郎を捻ち伏せ益吉は要太郎の胸倉取つて締め上げしにぞ要太郎は絶体絶命益吉の指に喰付きしかば鮮血淋漓として口邊に迸りし此有樣を見たる家人は早速永樂町派出所に訴出で警官出張の上要太郎のみ南部署に引致せしが結極說諭で事濟みとなる

●八坂樓の新妓

仁川八阪樓より廣島市生れの寺尾ちよ（十八）は鹿島と名乘り及び大阪生れの芝野まさ（二十）は香取と名乘りて一昨夜より今晩アリ〜と出現す右の內香取は義太夫にして下の關は豐前田遊廓に居りしを大枚二千圓にて抱へたりと云ふが此妓は随分腰の据はらぬ妓なりと

●夜逃の流行

本年は二十年來の不景氣なりとは古き渡韓者の語る處なるが其れが爲めにや近來本町六七丁目邊の淫賣屋にして夜逃げを爲すもの頗る多く今や淫賣屋の數頗る減少し同町は頗る寂寞なりと云ふ

●客引の所罰

仁川白石旅館の客引勝股豐吉（三十）が群山丸にて窃盜を働きたることは既報したる所なるが右公判は一昨日仁川理事廳にて開かれたる結果懲役六ヶ月に處せられたり

●捉へた賊は啞

一昨廿七日午后九時頃農商工部主事朴用薫方へ窃盜忍入りたるを直ちに引捕へ電話にて南部署へ届出でしかば同署より[illegible]出張[illegible]取調へたる[illegible]住所氏名不明[illegible]韓人啞者なりし[illegible]

●一昨夜の新町

遊廓總花樓客は平日より[illegible]ズット減じて八十五名此費消金五百八圓三十九錢內皆春樓の十九名九十七圓十三錢が最高

演藝界

▲龍山座　雨天の爲め初日延期せし竹本一昇一座の義太夫は愈昨日初日開演せしに非常の好人氣なりと

▲永樂亭　岡本美根松一座の源氏節は一兩日中に打上げ來月二日頃より歷史談の鼓吹者吉川圓朝一座の浪花節を興行する由

▲歌舞伎座　田宮、松村等の一行の新派劇は頗る好人氣にして毎夜客足多しと

▲京城座　新派梅花美團にて今以て打續け居れるが安値なるため相當の客足あり

アサヒ ビール
サッポロ ビール
ビール

●韓語獨習

日語	韓語
何卒、さうして下さいな	アムチュルク、クリハヨチユーシヨ
イヽエ、不可ません	アニヨ、モッテヨオ
面白い話はありませんか	チエーミイツナンマル サム、イオプスムニカ
少しも面白くありません	アヂヨ、チヤーミ、オプソ
別に變つた事は有りませんか	ピヨルツームニ、オプスミニカ
別に、御座いません	チヨルノ、オフスムニダ

長唄嗜好會

本月例會は會場なる巴城館修繕中に付き來月上旬迄延期候條此段會員諸君に謹告候也

四月　長唄嗜好會

平民文庫

揑造中傷無用のこと
小便も亦御斷り申候

▲片々子の仰せの如く毎日に撒水を強るは却て街路を不潔に爲すと同じ事です斯は速かに漢城府の事業として實行せられん事を望む最早夏季に入る故て當路者の一考を促す（烟酌玉）▲小僧禪寺の老禪樣早速の御答へ誠に有難く隨意の涙に暮れました私も貴僧の御教化に浴して頓悟しました（御伺生）▲近來に於ける小民文壇欄の三大問題と云ふ洒んだ曰く啖度生の蛤問題次ぎに下駄娘問題それから初さんの半風子問題である（ぶんすけ）▲西小門外踏切り側の政床は僕の忠言を容れて近頃に至り改良を加へ店舖も清潔に成り機械器具も新式を用ゆる樣になつた是では繁昌大請合だ（烟酌玉）▲むら君の住居れ知らせ下さいませんか（うそ）▲うを君に申上げます、實は私も貴君に一目掛つて相談致したいと思つて居たので御座います社内に厄介に成つて居ますから日曜以外は午後六時過ぎからならば何時でも身体は閑ですから御來訪下さいまし（むら）▲明治町の敷島は料理が安くて客を取扱ふことが親切だ諸君百聞一見に如かず是非一度御試しなさい（岡目八目）▲昨年中の貴紙に紫生さんが永く續いて書いて居られた「秋月菊」と云ふ女を近頃又々貴社の近邊で見受けますが御亭主の憲兵さんとは別れたのですか（心配生）▲私は知りません、御見掛けの節直接御問尋可然（本社係）▲呼び賣りの豆腐屋の荷箱の横に「とそふう」と書いて居るのがある（閑人）▲日韓一家說は伊藤統監に依りて倡道せられた御尤ものことである然らば統監の來任に軍艦で送迎する必要はあるまい官吏の給料の如きも本俸丈けで海外手當杯支給するにも及ぶまい何うだ（日本人）▲待合が雨後の筍の樣に殖ゑたから南山のベンチや樹陰やは寂びれるだらふ（阿々子）▲半乾の小僧君の海老か甘味か不味いかと聞いて小僧君の喝に逢ふた方に敎へる味淋醬油でトロ火で氣永く煮て食ふと仲々上味いよ値段の所は十尾で十五錢なら買へる（朝市商人）▲一昨日本町通りを八才許りの男の子が魚籠を提げ手網を持つて迂路迂路して居るから何ぞして居るのかと尋ねたら鮒か鯉が獲れるかと思つて來たが一尾も居ない已んの國の裏田圃は此樣に泥は深くないけれど鰻や何かゞ澤山居る京城は詰らねナアと云つた面白い（通行人）

周宮殿下の叙勳

周宮[illegible]

▲[illegible]事件にて拘引中の長崎縣撰出代議士臼井哲夫氏は衆議院議員を辭したり

[illegible]士横井甚四郎氏は日糖事件にて拘引から[illegible]

▲西班牙東洋艦隊　西班牙東洋艦隊は明日横濱に入港し日本海遊[illegible]

▲韓太子[illegible]訪問　韓太[illegible]後午發了共にし歸船せられたり（廿八日發）

既報國債證券の當選番號は一昨日度支部に到着したる由なれば近日新聞紙上に發表す

城中學校入學試驗の成績は二年志願者中及第者[illegible]假編入の者九人にして一年志願者中及第者[illegible]百人なりと而して入學式は來る三十日擧行[illegible]

●[illegible]運動會の[illegible]校春季聯合運動會の當日は大韓[illegible]

●天氣豫報（自廿九日午後六時 至三十日午後六時）

北西の風晴

廿八日　最高溫度 六四、〇　最低溫度 五六、五（華氏）

廣告

韓國新徳用燃料 **無烟煉炭**

●特色 火付善く火力耐久價格低廉
●用途 潔鑵、暖爐、竈用に適す

周防徳山海軍省煉炭所東隣 **谷口無煙煉炭工場**

京城特約店 京城南國領事館通 電話六〇三番 **巴商會**

韓國一手販賣 京城太平町二丁目

神田組

▲無料紹介欄▼

人事部

清語通譯希望 當初給料望まず 氏名在社(一二一)

被雇甲種商業學校出身一年志願兵現役終了給料不望個人商店を望む身元確實 姓名在社(一二二)

年廿才玉突ボーイに雇はれたし持點數百二十以上龍山大島町新玉軒にて津田(一二七)

資格學業を求む年廿三身体頗强壯軍隊出身射擊術に通ず報酬を不望(衣食は差支へなき限り) 氏名在社(一二四)

看護婦募集す志望の方は至急申込あれ 明治町惠愛看護婦會

看護婦二名入用 南山町二 松岡醫院

給仕に雇はれたし 氏名在社(一二八)

多少法律事務に心得ある事務員一人雇ひ入れたし希望者は午前九時前御越し乞ふ 明治町二の七五岩田辨護士(一二三)

下女入用年齢不問給金働き次第 氏名在社(一二二)

弓削竹二郎君に告ぐ長谷川町富田屋洋服店へ履歴書提出あれ (係)

雇はれたし家族少なき家を望む十九女 (氏名在社)

十六七の**職弟子入用**但し當地に確實なる保證人有者 明治町一丁目 御牟床(一二五)

藥局生に雇はれたし内地にて多年經驗あり醫院若くは病院を望む身元確實保證人有り 氏名在社(一三四)

年十七高等小學卒業商店又は役所の給仕に被雇たし 氏名在社(一二八)

物件部

賣家大和町三土地百餘坪の建物あり官吏向に適し風景最もよし望の方は御來談あれ 社内 矢島

貸間旭町一丁目至極便利の場所電話附(又は賄附にても)にて二階貸したし 氏名在社(一二五)

雑子雄日本産尾小鵡し從來使用中の者盗難にかゝれり心當り御報の者へは謝禮 龍山鐵道官舍八十八號前 丸山(一二二)

縣擬器物を上下し修繕する家庭御承知の方は本欄迄御通知被下度 姓名在社(一二七)

廣告

京城南山町二丁目 病院前 **大旅和** 東京流 **待合** 席貸 電話一〇二五番

●賣家●

龍山旭橋通り
一、瓦二階及平屋
取まぜ二十三坪
間數十四造作付
外に空地あり
但旅館用道具共一切御相談に應ず
右賣却す望の方は御來談被下度候

龍山丸万旅館



貨物運送取扱　稅關貨物取扱　貨物引換發行
危險擔保運送　品代金付貨物運送

内國通運株式會社

京城南大門驛前 **京城支店** 電話七〇八番

仁川驛前 **仁川出張所** 電話五一一番

草梁驛前 **釜山出張所** 釜山驛前電話六一六番 草梁驛前電話五三七番

龍山驛構内 **龍山派出所** 電話二〇六番

營業科目

諸官衙御用品調達

和洋紙類　印刷附屬品　印刷インキ　和洋書籍　防腐デシン　穀物食鹽　諸染料類

各學校御用品調達

委託販賣

東京ランバーグ商會代理店
東京中外アスファルト株式會社代理店
東京千代田生命保險相互會社代理店
東京博文館發行書籍特約店
東京金港堂發行書籍特約店
釜山臺鹽合資會社食鹽特約店

藤田合名會社

本社 京城明治町二丁目 電話二三〇番

出張所 東京京橋區南傳馬町一丁目十番地 電話新橋三九六二



地方よりの注文は御一報次第代金引替にて郵送致し若し御足に合さる節は何時にても御取替申すべく候

電話開通九百十九番

キッド皮深ゴム 八圓
ボークス皮深ゴム 七圓五十錢
牛ボークス深ゴム 裁一枚皮 五圓五十錢
一枚皮

京城本町一丁目 **富田製靴本店** 電話九百十九番
同 本町六丁目 **同第一支店**
同 南大門外 **同第二支店**

新荷着廣告

歐州各國帝室御用品品質優等、意匠艶麗、

G.D.印トルコ金口煙草(百本入十本入)

外各種
右今般多數入荷致候に付精々廉價發賣致候間多少に不拘御用命願上候
追て見本品並に價格表は御申越次第御送附可申上候

直輸入元 仁川本町一丁目 **トルコ煙草商會** 電話(七一五番)

九州セメント
上等生石灰販賣
京城南山町一丁目電話三四四番 **山村商店**
龍山元町一丁目 電話三四八番 **中村運送店**

開業廣告

今般左記の所に於て左の業務を開始し懇切且つ迅速を旨とし事務取扱可致候條御用命を蒙り度伏て奉懇願候敬白

一、登記及漢城府手續
一、諸願屆及裁判所提出書類代書
一、定款規約の起案
一、債權取立代辨
一、土地家屋賣買貸借其他金錢貸借諸般の仲介
一、土地建物鑛山測量

京城旭町貳丁目百六十二番戸理事廳横通り **金子專一** 電話(取次)七八九番

○建築業 龍山元町四丁目 **中川卯之助** 電話六九一
○多年の經驗にて建築の完全を期し料金は便宜御相談可申候也

電話開通一一一一番

青々園

風味趣味實質の三者を兼備す
正銘宇治茶京都の茶器
故に尤も進物用に適當なり

京城本町四丁目 茶及茶器商 **青々園茶舗**

諸傘並に提灯類
印入
和洋蠟燭あり

京城明治町一丁目 **大島商店**

男女生徒募集
簿記學速成教授規則書郵券二錢
但一人毎に教授す何時入學するも差支なし
新式官廳簿記學教科書 代五十錢
京城(?)町一の三七 京城簿記學校

南山町一丁目 植村病院跡 **松岡醫院**(入院 隨意) 電話六七五番

龍山萬長旅館 東山の手柳町 電話四〇〇番

熱誠敏速ニ法律事務ヲ取扱フ(紹介ヲ要セス)
京城旭町一丁目六十七番戸
辯護士 岡田榮 (電話三九八番)

石炭直輸入卸小賣

●精撰塊炭(海軍御用炭)●上等塊炭
●荒塊炭(鐵道御用炭)●切込炭

弊店の石炭は自巳炭鑛よりの直輸入なるを以て品質一定斤量正確にして價格低廉に候目下多量之貯炭有之候間續々御用命被下度奉願候

赤阪口福母炭坑賣炭部
合名會社範多商會韓國代理店
大阪鐵工所韓國代理店

韓國京城南大門西側(電話長八二九番) 合資會社 **長醫商會韓國出張所**
仁川濱町一丁目(電話長八三三番) 合資會社 **長醫商會仁川出張所**

大 命 薫

特約販賣自製

漬物 味噌 醬油 製造元

京城本町五丁目 **大上商店** (電話二五一番)

和洋酒、◎精酎、穀物麵類銘茶、罐詰、乾物荒物食料雜貨、ビール、米糀、塩辛各種特約販賣
尚御望に依り商品切手調進仕候

新醫及調進 井中彦太郎

●廢物利用●
一金口莨空箱買入れ申候 但百本入に限る
上等金口トルコ莨發賣所 京城本町四丁目 **パチナス商會**

統監府御用
諸官衙人力車
荷物荷造及運搬
營業 京城曙町(電話七三番)
本店 同本町三丁目(電話四〇番)
伊藤組

◉氣候變化◉
牛乳=純良=滋養
韓國畜産株式會社 南大門外(電話八八番)

會席御料理
本町八丁目 **富士見樓**

◉開業◉
會席御料理 御一人前金五十錢(便利附)
今般左記へ開業仕至極輕便御手輕に致します何卒御引立の程を
京城壽町三丁目(中島病院前) **水津**

銘茶 ... 京城本町 ... 茶舗

日本郵船株式會社 汽船出帆廣告 電話十番
貨物及船客取扱店 仁川海岸通 **郡回漕店** 電話三九番

●釜山長崎門司神戸行 山東丸 五月九日午後三時出
●大連、太沽、牛莊行 高砂丸 四月 日正午出
●大連、大沽、牛莊行 出雲丸 四月 日午前五時出
●大連、大沽、牛莊行 酒田丸 五月十三日正午出
●釜山出帆、元山、清津、浦鹽行 立神丸 四月 日
御乘船ノ際ハ稅關波止場ヨリ本船迄送迎船ニテ御送リ可申候送迎船ハ出帆ノ約五十分前ニ解纜ス

●新聞料 ▲一枚金二錢▲一ヶ月前金卅五錢▲三ヶ月前金壹圓▲六ヶ月前金貳圓四十錢▲郵稅一ヶ月金拾錢
●廣告料 ▲五號活字十九字詰一行一回四十錢▲特別廣告五號活字十九字詰一行
發行兼編輯人 秋山忠三郎
印刷人 高木久太
發行所 京城 ... 京城新報社 電話六六三番